

津波想定避難訓練結果報告

発行:2016/11/27

訓練記録: 大石

- 1 訓練日: 平成28年11月26日(土) 09:20~09:30 災害対策本部員:訓練内容最終確認
 09:30~10:00 事前準備「災害に備える会」委員全員
 10:00~11:50 居住者全員対象:避難訓練(現地解散)
 11:00~11:30 災害対策本部会議

- 2 訓練内容: 津波想定避難訓練
 地震発生後、津波の発生を想定し、自宅での減災行動の後に3階以上の階に避難行動をする。踊り場への避難後は、居住者相互のコミュニケーションを図る為、防災に関する話し合いをして頂いた。避難場所で解散となった。

3 訓練状況:

避難訓練参加者: 141 名

イエローサイン掲示: 125 戸

無線機操作訓練:

9機使用し全ての棟理事と本部間で報告訓練を実施した。操作が不慣れで通話ボタン押したまま等通話出来ないところが有った。初めて使う人考えた「簡単マニュアル」の準備が必要と思われる。

[棟別参加者数]

	避難訓練	イエローサイン
20-1棟	27	24
20-2棟	24	15
20-3棟	13	13
20-4棟	8	9
20-5棟	16	16
21-1棟	22	21
21-2棟	9	10
21-3棟	22	17
合計	141	125

4 本部会議:

避難訓練終了後、本部委員会にて各階段委員から話し合いの結果が報告された。以下、内容を紹介しますと共に今後の「災害に備える会」活動に反映させていく。

- ・津波と地震の場合の避難の違い、避難場所が不明である。
- ・情報を適格に流して欲しい。 → 対策本部より流す。(時間が掛かる)
- ・しばらくやっていないが夜間訓練をしたらどうか
- ・実際に災害時にベルを鳴らせないのでは(鳴らす人が居ない)
- ・近隣の人に声を掛ける
- ・ベルは東階段しかなく、西側階段は聞こえにくい。
- ・災害時に支援物資の補給を受けられる方法と等を事前に知っておきたい。
- ・上の階の方へ備蓄物資を預けておけたら
- ・4階と5階の方は避難場所が踊り場だが訓練に参加して欲しい。
- ・イエローサインの紐が結びにくい。 → 紐の先に洗濯ばさみを付けると楽になる。
- ・イエローサインが出ていない方はどうフォローするのか
- ・階下の方で足腰が弱くなった時に心配。体の状況をお知らせしておけば良いのですが
- ・訓練に参加している人は、イエローサインを出さなくてもいいのでは?
- ・災害時に手持ちの物の応用方法を説明したらどうか
- ・AEDを実際に取り出して使う訓練したら
- ・掃除の日に訓練を計画したら参加者が増えるのではないか
- ・訓練を回数多くやってくれてありがたい
- ・階段に津波の際の標高表示があれば意識も高まる
- ・車椅子、動けない高齢者を階段上に運ぶにはどうしたらいいか
- ・避難場所の表示があつたらいい
- ・寝たきり、体のふじゅうなかたはどうしたらいいか考えたい ★昇降機器は高額
- ・屋上に上がって逃げる。ベランダから上に逃げる等考えたい。
- ・ベランダからの避難訓練で壁がけ破れるか? ★工具を用意しておく必要が
- ・日頃から階段の人々と親睦を深めておく必要がある。
- ・指さし確認の内容を具体的にやって貰いたい。(示して欲しい)
- ・予告なしの訓練をしたらどうか
- ・イエローサインの他に救助要請の人に「赤い旗」を用意したらどうか
- ・共助は、階段単位である、階段で食事会などしたらどうか

以上